

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第1266号	氏名	鎌田 健作
論文審査担当者		主査教授	丹羽 正美
		副査教授	中園 一郎
		副査教授	高橋 晴雄
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、細胞の酸化ストレス感受性規定因子を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 確立された細胞分子生物学的技法、最新の遺伝子生化学法を用いて細胞内因子の解析を行い、また適切な細胞株を用いており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、細胞核局在性 glutathione S-transferase π が細胞の酸化ストレス感受性を規定する因子の一つで酸化ストレスによる DNA 障害の責任分子であることを発見し、細胞の抗老化や抗癌方法の進展がおおいに期待される。</p> <p>以上のように、本論文は酸化ストレスによる DNA 障害の分子基盤の解明に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			